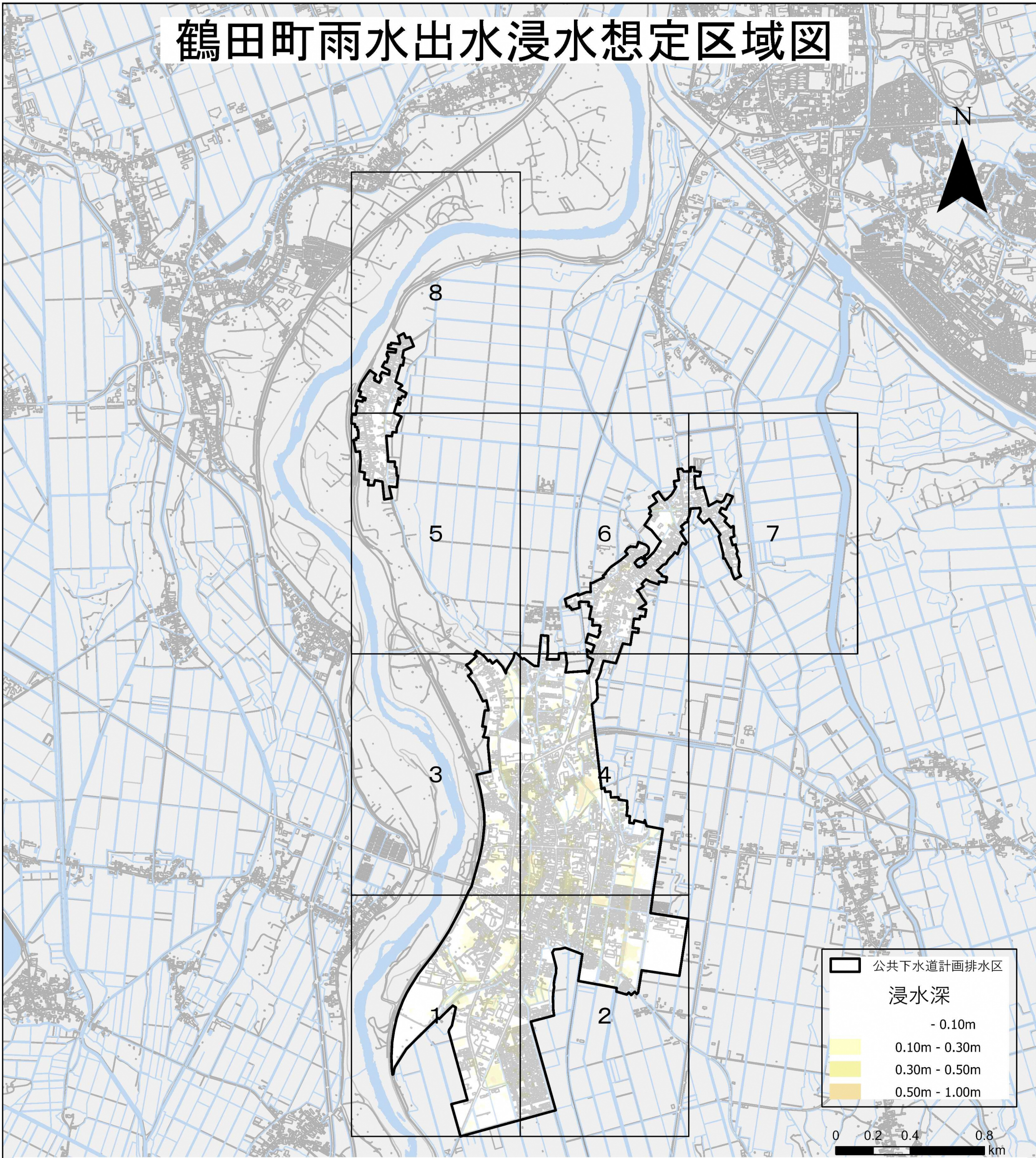


鶴田町雨水出水浸水想定区域図



雨水出水浸水想定区域図とは

1. この図は想定し得る最大規模降雨（1時間あたり150mmの降雨量）により水路などの雨水を排除する施設の処理能力を超えた場合に、浸水が想定される区域や浸水する深さをシミュレーションし図示したものです。
2. このシミュレーションは下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水経過時間が異なります。そのため、時間経過に影響する浸水経過時間に関しては図示しておりません。

基本事項等

1. 作成主体：青森県鶴田町
2. 指定年月日：令和7年11月14日
3. 告示番号：鶴田町告示第81号
4. 指定の根拠法令 水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の2 第 2 項
5. 対象となる水位周知下水道（対象となる排水区はなし）
6. 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（時間最大雨量150mm）
7. 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法[降雨損失・氾濫解析のみを実施（下水道等の排水能力は一定で考慮）]、地形情報を活用（有効降雨に対して下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量湛水するものとした）
8. 境界条件：浸水想定手法が降雨損失・氾濫解析のみを実施（下水道等の排水能力は一定で考慮）のため、河川（岩木川・十川）の水位、ポンプ場（鶴菖排水機場・相原排水機場）の運転制御に関しては考慮していない。
9. その他計算条件等：対象区域を625m²（25m×25mのメッシュ相当）に分割し、メッシュごとの浸水深を計算した。